

令和2年度 第2回 沖縄観光2次交通の利便性向上に向けた検討委員会

オープンデータ化に伴う 効果検証の進捗

令和3年1月12日

- ◆オープンデータ整備による効果を定量的に把握するため以下の調査を実施する。過年度までに事前調査を実施しているため、本年度は事後調査を実施し、事前調査結果との比較により効果検証を行う。

①乗換案内サイトでの掲載状況

- ・大手検索サイト等における路線検索の可否状況を確認する。

②主要観光地のアクセス情報

- ・県内主要観光地のWEBサイト等における公共交通でのアクセス情報の掲載状況を確認する。

③観光客アンケート

- ・観光客の本取組に対する認知状況や、移動手段の検索方法、乗換検索にあたっての不便・不満の有無等を把握するためのアンケート調査を実施する。
- ・八重山地域では事前・事後調査を実施済。**今年度は本島における事後調査**を実施。
- ・実施にあたっては、新型コロナの状況に応じて、QRコード読み取りによる調査を実施した。

2. 乗換案内サイトでの掲載状況

◆主要乗換案内サイトにおける県内交通事業者の掲載状況について確認を行った。

⇒今後、Google以外への乗換案内サイトにおけるオープンデータ活用の働き掛けが必要。

▼大手検索サイト等における路線検索の可否状況の事前・事後の比較

調査時期	地域	Googleマップ	Yahoo!/ 駅すぱあと	ジョルダン	NAVITIME
①事前調査結果 平成31年1月時点	八重山	1/10事業者	2/10事業者	5/10事業者	4/10事業者
	宮古	0/6事業者	2/6事業者	2/6事業者	2/6事業者
	本島・ その他離島	3/33事業者	17/33事業者	16/33事業者	14/33事業者
	①事前合計	4/49事業者 (8%)	21/49事業者 (43%)	23/49事業者 (47%)	20/49事業者 (41%)
②事後調査結果 令和3年1月時点	八重山	10/10事業者	3/10事業者	4/10事業者	4/10事業者
	宮古	7/7事業者	4/7事業者	3/7事業者	4/7事業者
	本島・ その他離島	37/38事業者	20/38事業者	22/38事業者	23/38事業者
	②事後合計	54/55事業者 (98%)	27/55事業者 (49%)	29/55事業者 (53%)	31/55事業者 (56%)
掲載状況の割合の変化 (②-①)		+90pt	+6pt	+6pt	+11pt

※事後は中央交通株式会社、東京バス、北中城、糸満市、南城市、第一マリンサービスの6事業者を追加

※調査対象は沖縄総合事務局運輸部へ申請を行っている事業者を基本としているが、不規則な時刻表、乗車完全予約制等、福祉利用のみの事業者は対象外とした。

3. 主要観光地のアクセス情報

◆主要観光地の各公式WEBサイトにおける公共交通でのアクセス情報の掲載状況を確認した。

⇒調査対象は複数の観光案内サイトやマップに掲載されている観光地のうち最寄りバス停より徒歩15分圏内かつ公式サイトを保有している観光地。（八重山14箇所、宮古11箇所、本島36箇所）

▼主要観光地のアクセス情報の確認結果（令和3年1月時点）

地域	①公共交通による アクセス情報掲載	②Googleマップ の埋め込み	③ ①か②の いずれか有
八重山	3/14 (21%)	9/14 (64%)	11/14 (79%)
宮古	3/11 (27%)	9/11 (82%)	8/11 (73%)
本島	28/36 (78%)	29/36 (81%)	36/36 (100%)
計	34/61 (56%)	47/61 (77%)	55/61 (90%)

◆八重山・宮古圏域は公共交通情報の掲載が少ない。本島は約8割が掲載されている。
※ただし本島の28施設中6施設は情報に誤りが見られた。
◆8割程度の施設がGoogleマップの埋め込みを実施。

【公共交通によるアクセス情報の掲載例（サンセットビーチ）】

【路線バス】（所要時間約1時間）

- 那覇市内(那覇バスターミナル)からは、20番(名護西線),28番(読谷楚辺線),29番(読谷喜名線)
- 那覇空港からは120番(名護西空港線)をご利用ください。

『美浜アメリカンビレッジ入口』で下車、徒歩7分。 料金目安=那覇バスターミナルから約700円。
※詳細は各バス会社にお問い合わせ下さい。 → [バスナビ](#)

【リムジンバス】（所要時間約1時間）

那覇空港（旭橋駅前バス停）からザ・ビーチタワー沖縄下車。
→ [空港リムジンバス時刻表](#)

【Googleマップの埋め込みの掲載例（あしびな〜）】



【参考：現在運行していないバス路線が掲載されている例】

⇒33番、46番は現在運行していない

▼平和祈念公園

交通案内

○バス利用の場合

(1)那覇（バスターミナル）→糸満（バスターミナル）約45分

バス番号：89、33,46番

料 金：580円（片道）

便 数：15分に1便程度

(2)乗り継ぎ/糸満（バスターミナル）→玉泉洞線（平和祈念公園下車）約30分

バス番号：82番

料 金：470円（片道）

便 数：1時間に1便程度

▼奥武山公園

奥武山公園・奥武山総合運動場

- 那覇空港から車(一般道)で約5分
- 那覇港から車(一般道)で約3分
- 沖縄自動車道：那覇ICから車(一般道)で約25分
- 沖縄都市モノレール：奥武山公園駅から徒歩で約5分 壺川駅3分
- 路線バス：軍棧橋前バス停から徒歩で約5分
 - 120番名護西空港線(沖・琉)
 - 89番糸満線(沖・琉)
 - 23番具志川線(琉)
 - 99番天久新都心線(琉)
 - 113番具志川空港線(琉)
 - 123番石川空港線(琉)
 - 9番小禄石嶺線(那)小禄向け
 - 9番小禄石嶺線(那)首里向け
 - 25番普天間空港線(那)
 - 33番糸満西原線(那)糸満向け
 - 46番糸満西原線(那)糸満向け

①実施方法

項目	内容
調査目的	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄本島でのオープンデータの整備によって、観光客の旅先での公共交通（路線バス、モノレール、船舶）の情報収集の方法や不便な点が事前からどのように変化したかを把握
調査対象	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄本島及び本島周辺離島を訪れ、公共交通（路線バス、モノレール、船舶）を利用した国内外観光客
調査方法	<ul style="list-style-type: none"> ・観光系路線バスの車内（座席）にQRコードを掲載したA4サイズのツールを設置しWEBにて回答いただいた（設置事業者：沖縄バス（空港リムジン）、沖縄エアポートシャトル、やんばる急行バス、カリー観光） ・回収率向上のため、抽選での特典を付与 （国内客：20名に3000円相当の特産品、海外客：アマゾンギフト券25ドル分）
調査時期	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年11月下旬から令和3年2月末頃を予定
調査項目	<ul style="list-style-type: none"> ・個人属性（年齢・性別・発地） ・路線バス、離島船舶情報の収集・検索方法 ・路線バス、離島船舶情報を収集・検索する上で困ったこと ・路線バスを使った理由 など
サンプル数	<ul style="list-style-type: none"> ・国内（県外）：184サンプル 海外（国内居住者含む）：37サンプル ※参考：事前調査（令和元年7月） 国内（県外）：196サンプル 海外：127サンプル

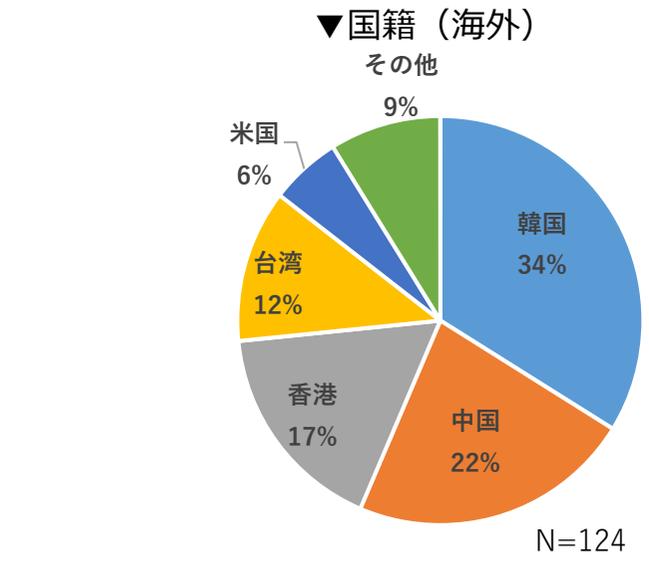
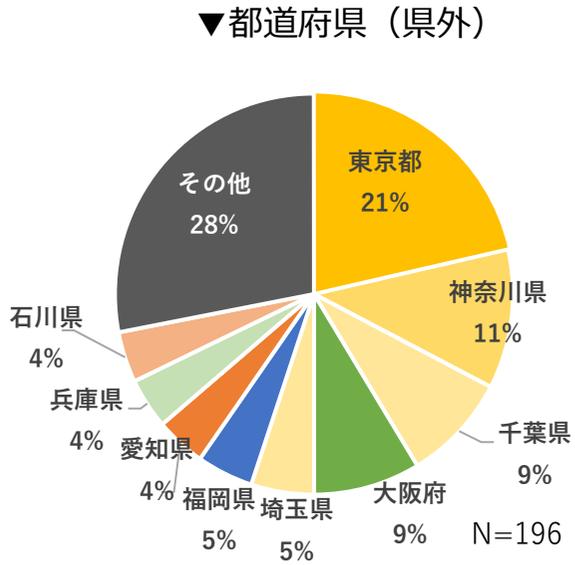
②実施結果

▼実施結果を次ページ以降に掲載

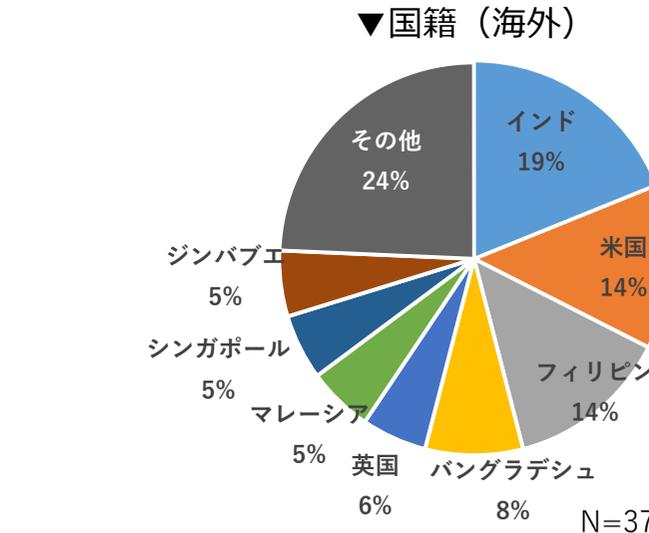
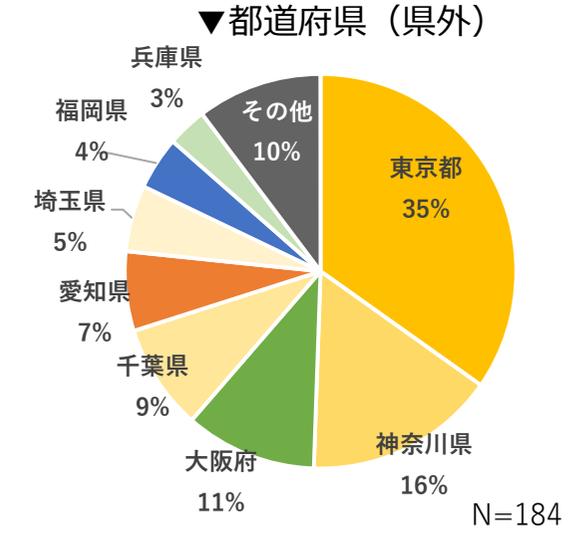
①基本情報（居住している都道府県（国内の県外客）/国籍（海外客））

- ◆県外は事前・事後ともに東京をはじめとして関東圏域および主要都市からの来訪が多い。
- ◆海外の事後は、コロナの影響により東アジアは大幅に減少しインドやフィリピン等の国籍が多くなっている。

事前調査結果
令和元年
7月



事後調査結果
令和2年
11月-12月



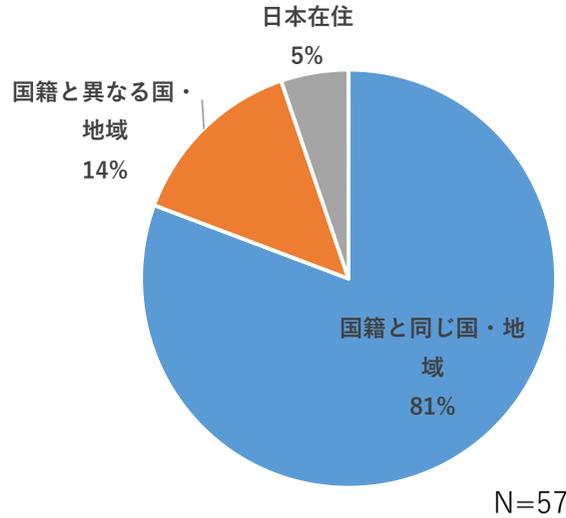
①基本情報（外国籍（海外客）の方のみ：国籍と居住地の関係）

◆海外客について、事前は国籍と同じ国・地域が最も多い。事後調査ではコロナの影響により日本在住が97%と大幅に増加している。⇒前述の事後の外国籍のほぼ全員が日本在住

事前調査結果

令和元年
7月

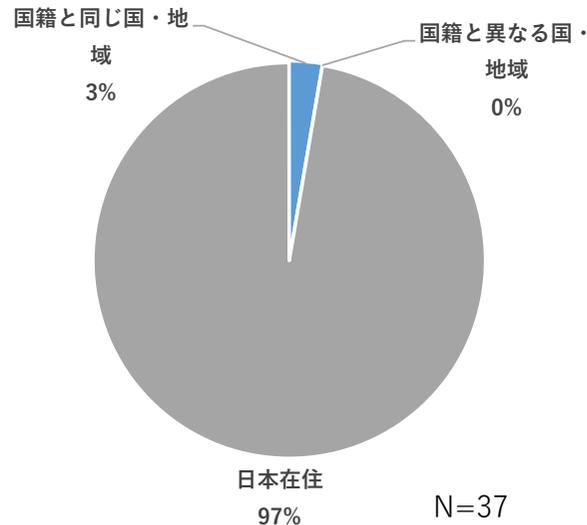
▼国籍と居住地について



事後調査結果

令和2年
11月-12月

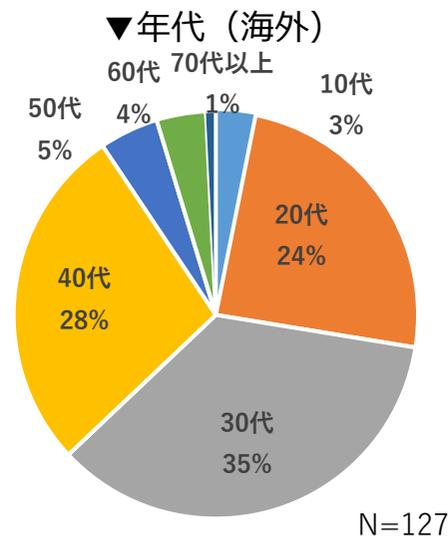
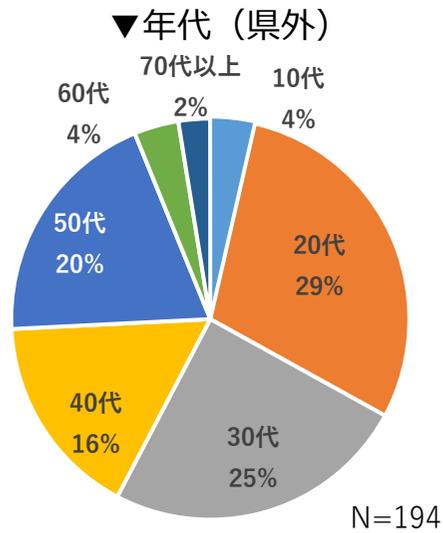
▼国籍と居住地について



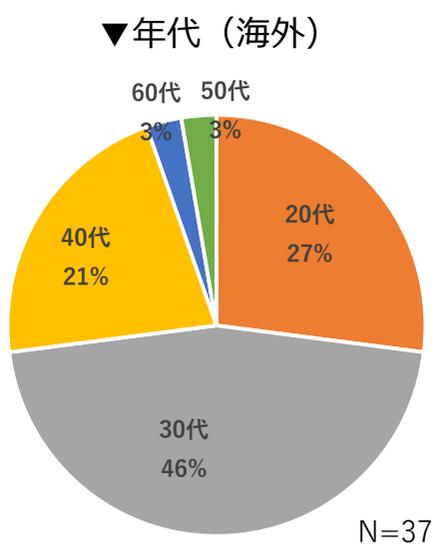
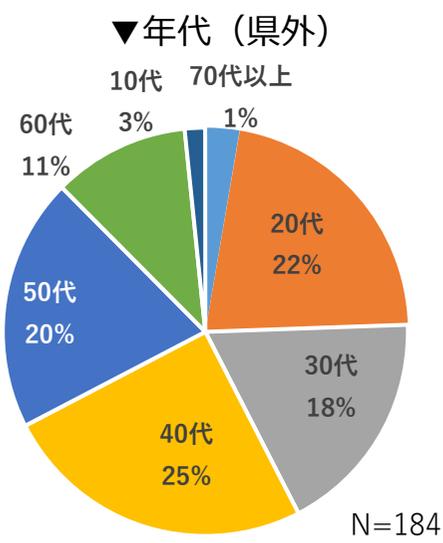
①基本情報（年代）

◆県外については、事前調査では10代～30代が約6割であったが、事後調査では約4割に減少している。
 ◆海外については、事前調査では10代～30代が約6割であったが、事後調査では約7割に増加している。

事前調査結果
令和元年
7月



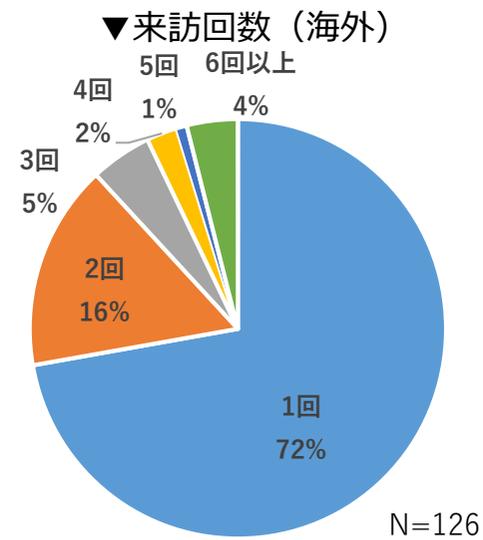
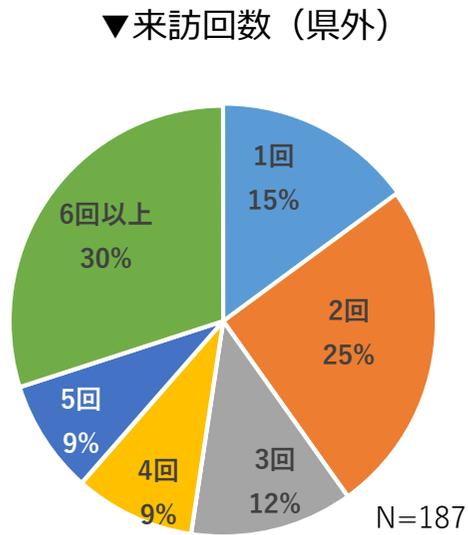
事後調査結果
令和2年
11月-12月



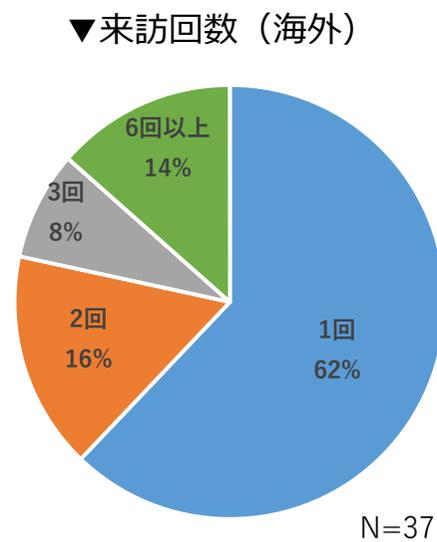
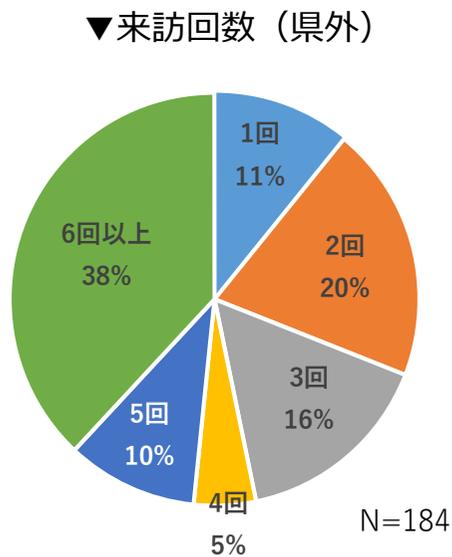
①基本情報（来訪回数）

◆県外の来訪回数は事前調査に比べ事後調査のほうが多い傾向である。（1、2回の減少、3回以上の増加）
 ◆海外は6回以上の割合が4%から14%に増加。

事前調査結果
 令和元年
 7月



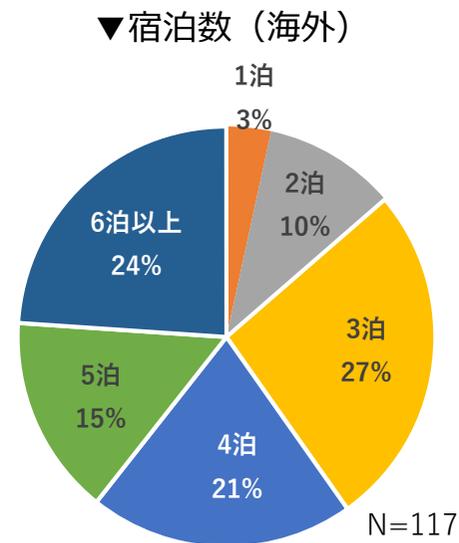
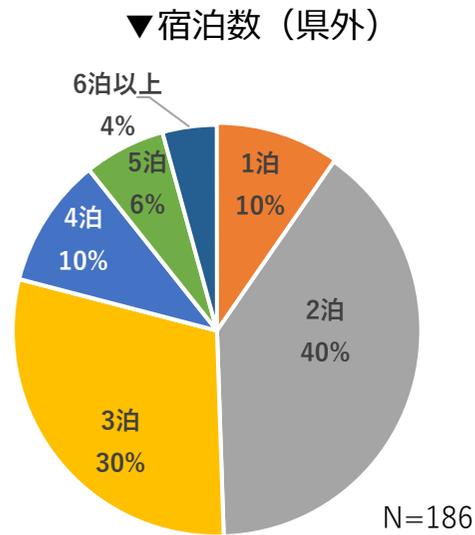
事後調査結果
 令和2年
 11月-12月



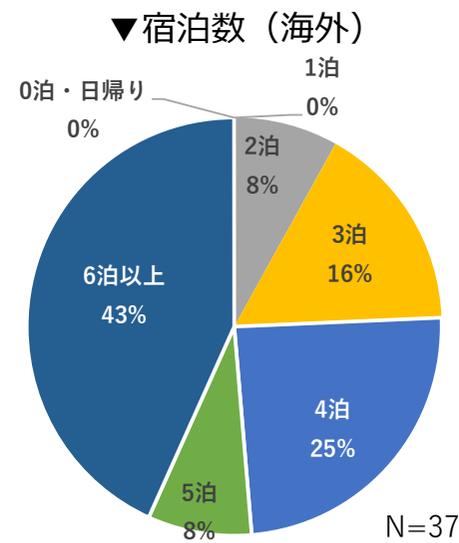
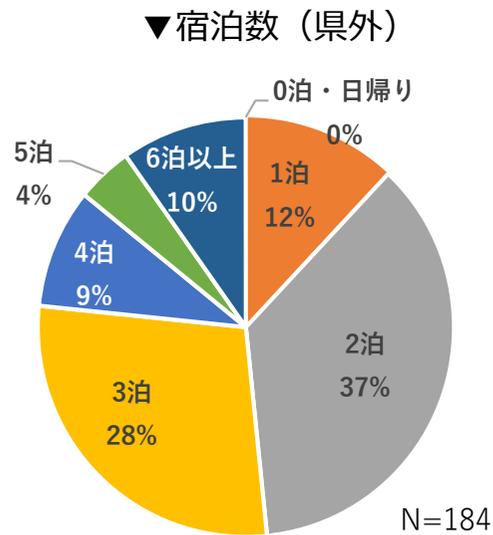
①基本情報（宿泊数）

◆県外は事前・事後ともに2泊もしくは3泊で約7割程度。
 ◆海外は6泊以上の割合が事前の約2割から事後の約4割と倍近くに増加。

事前調査結果
 令和元年
 7月



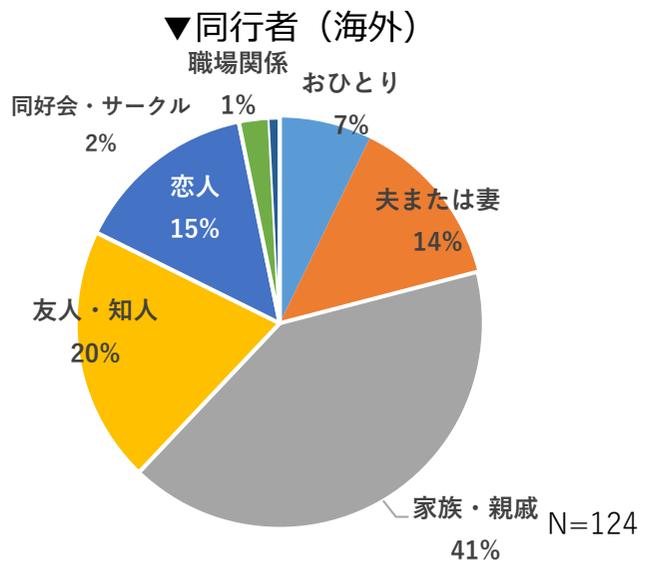
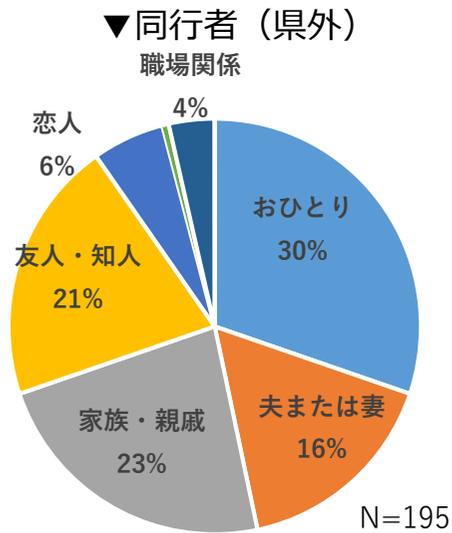
事後調査結果
 令和2年
 11月-12月



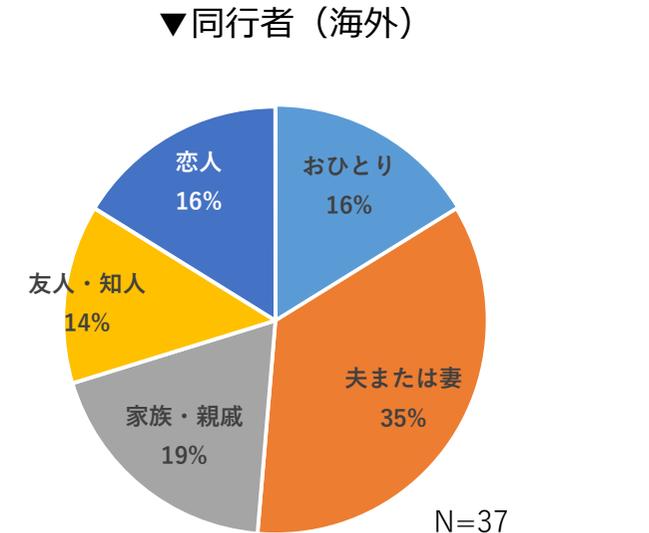
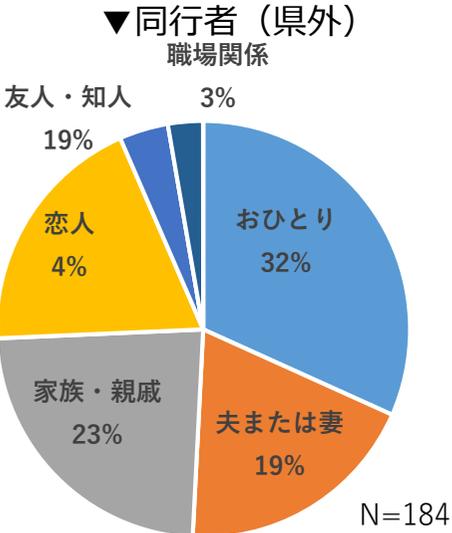
①基本情報（同行者）

◆県外は事前・事後ともにひとりが約3割と最も多い。次いで、事前は友人・知人が多いが事後では減少し、恋人が増加。
 ◆海外は事前は家族・親戚が最も多いが、事後では夫または妻が最も多い。

事前調査結果
 令和元年
 7月



事後調査結果
 令和2年
 11月-12月

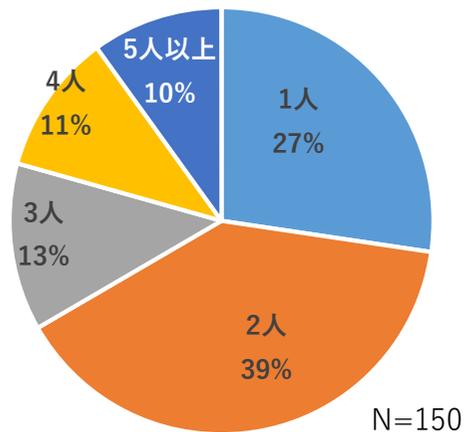


①基本情報（人数）

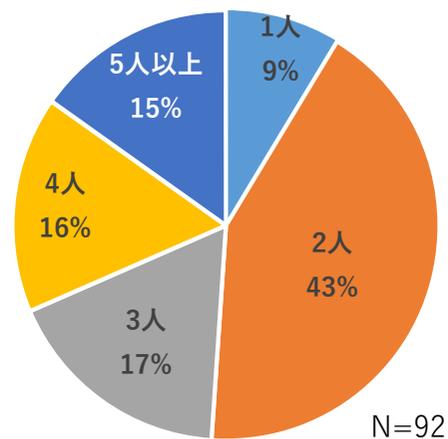
◆県外は事前の3人以上は33%に対し、事後は14%に減少。⇒コロナの影響により少人数での旅行へ変化と推察
 ◆海外も同様に事前は3人以上が半数程度だったのに対し、事後では四分の一程度に減少。

事前調査結果
令和元年
7月

▼人数（県外）

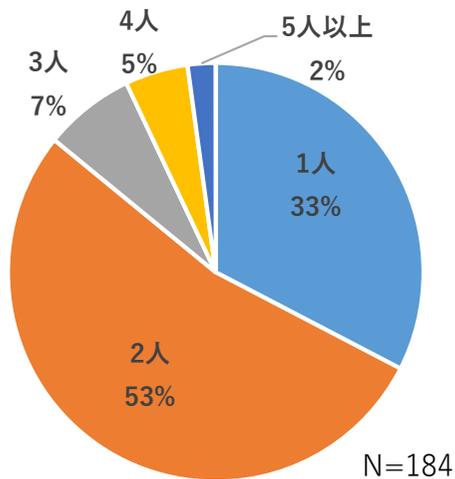


▼人数（海外）

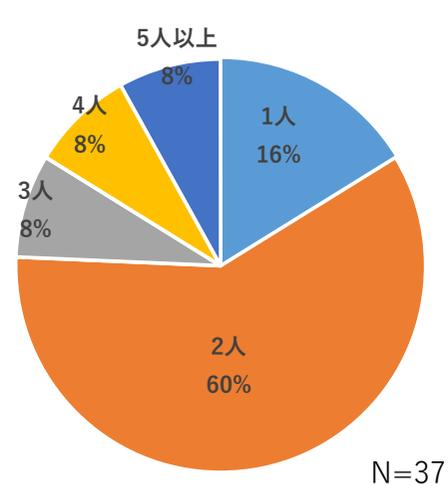


事後調査結果
令和2年
11月-12月

▼人数（県外）



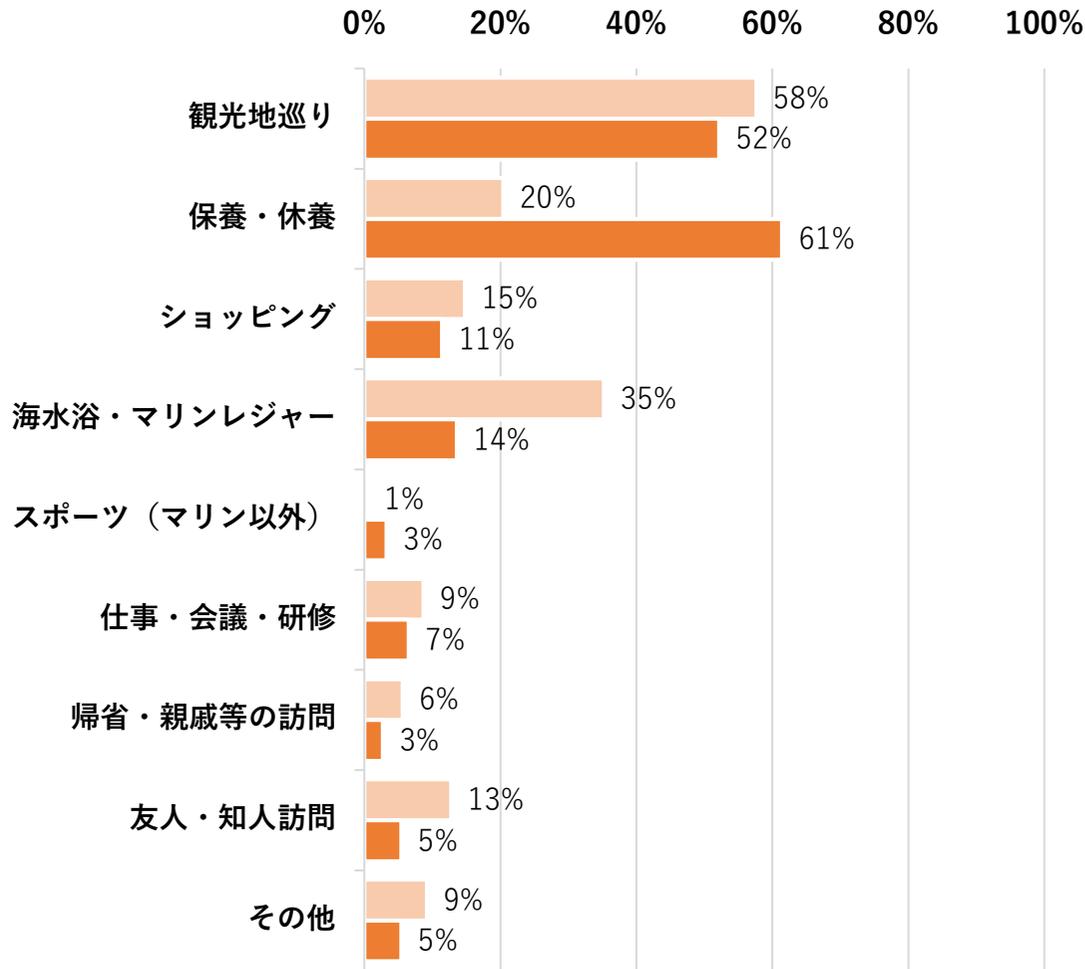
▼人数（海外）



②来訪目的

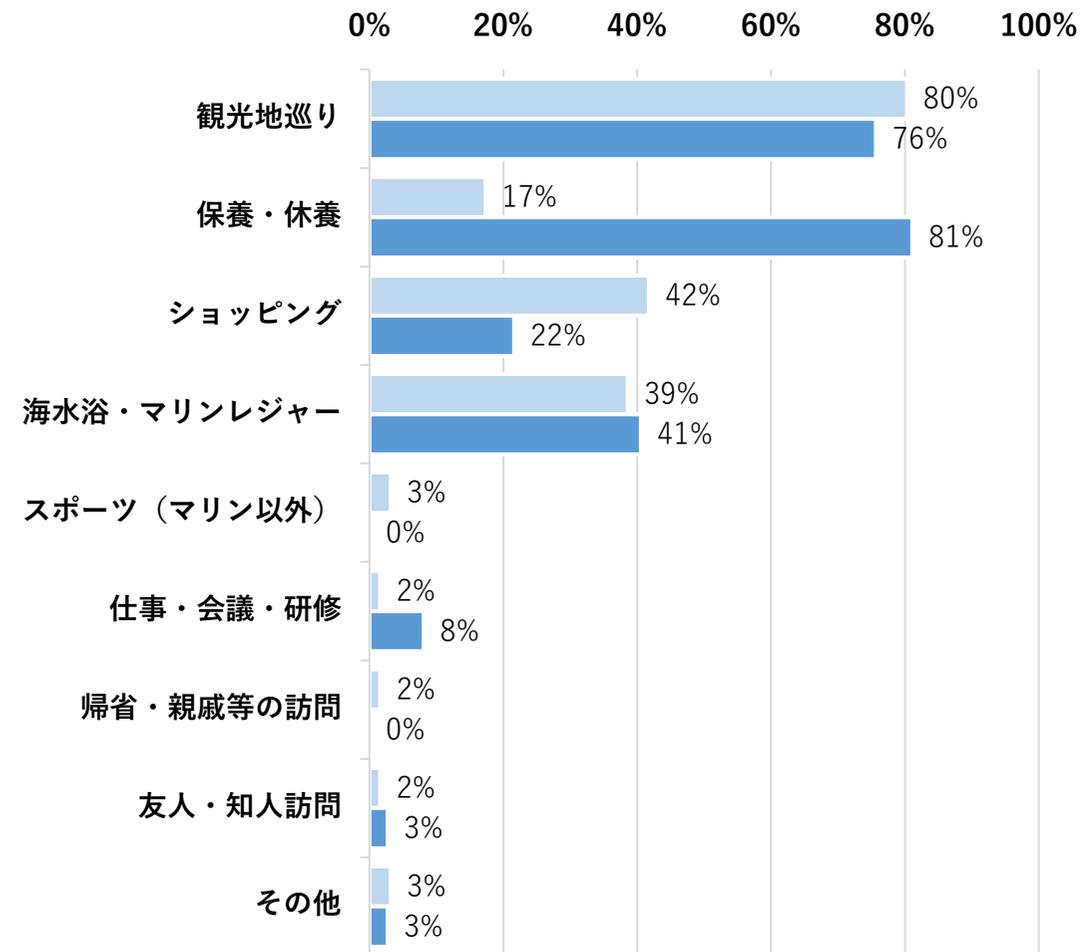
- ◆県外は事前・事後ともに観光地巡りが約5~6割。事前は夏季のため海水浴が多い。事後は保養・休養が約6割。
- ◆海外は事前・事後ともに観光地巡りが約8割。事後は保養・休養が最も多く約8割。

▼来訪目的：事前・事後比較（県外）



■ 事前調査結果 令和元年7月 (N=196)
 ■ 事後調査結果 令和2年11-12月 (N=184)

▼来訪目的：事前・事後比較（海外）



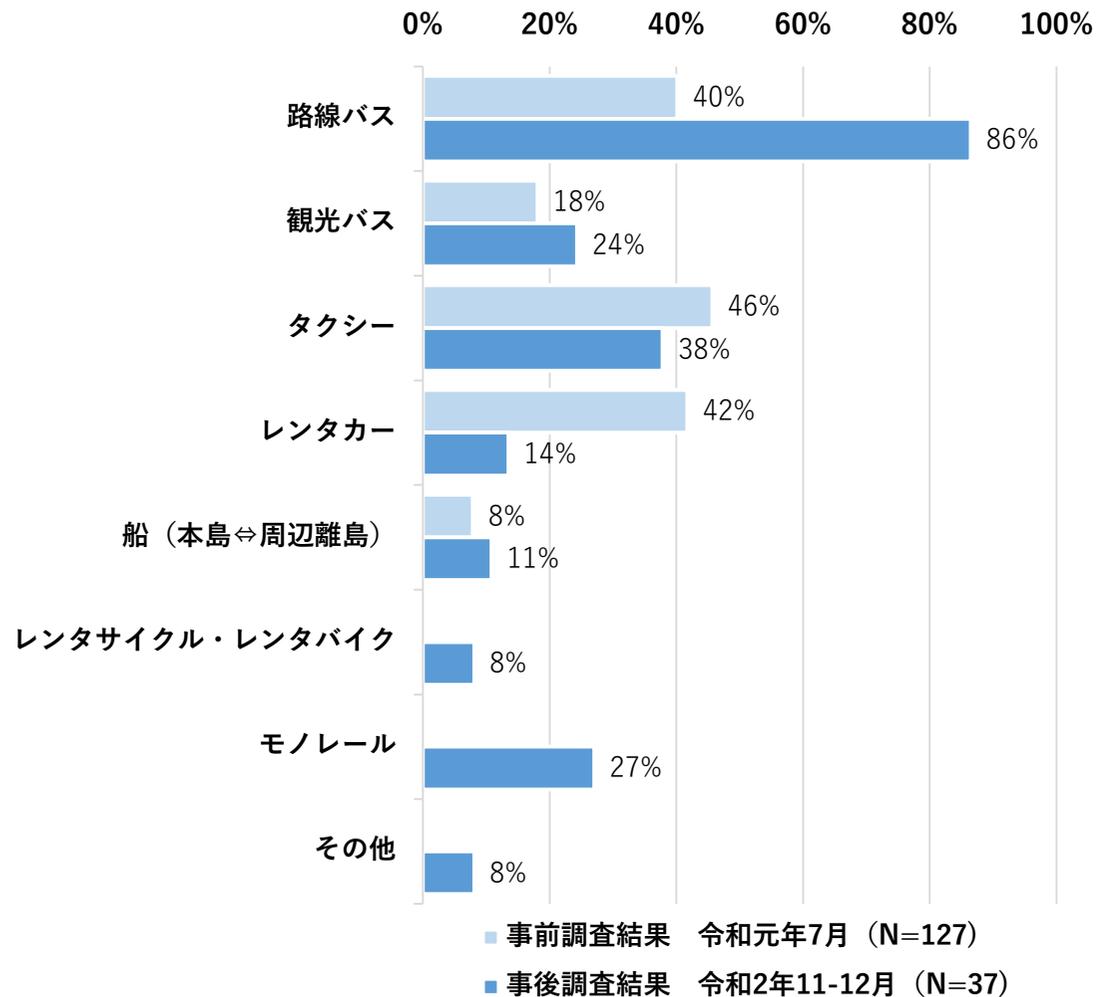
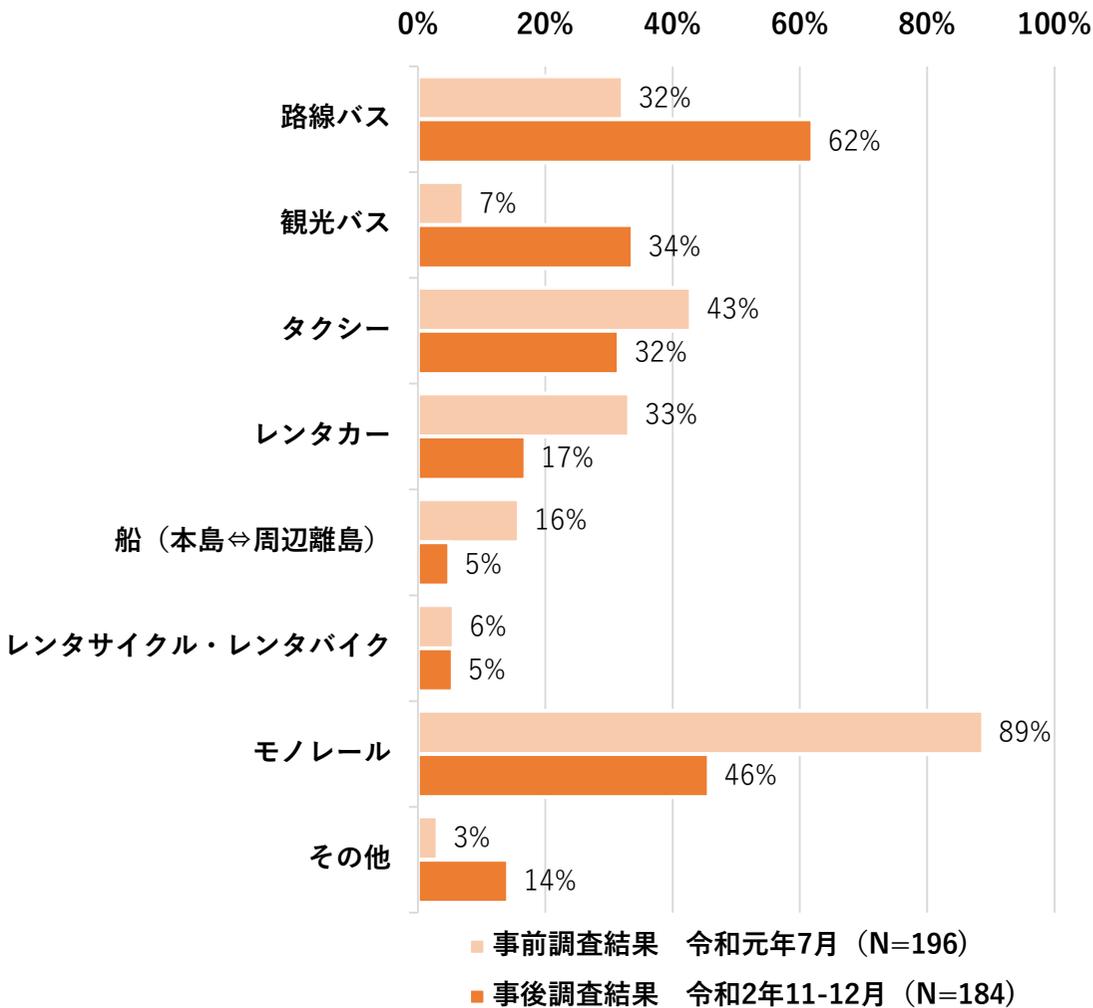
■ 事前調査結果 令和元年7月 (N=127)
 ■ 事後調査結果 令和2年11-12月 (N=37)

③交通手段

◆県外の事前は空港待合所での調査実施のため路線バスの割合が低くモノレールの割合が高い。事後は路線バス・観光バス（観光路線バスと推察）が約9割。海外も同様に事前は路線バスの割合が約4割だったが事後は約9割へ増加。

▼交通手段：事前・事後比較（県外）

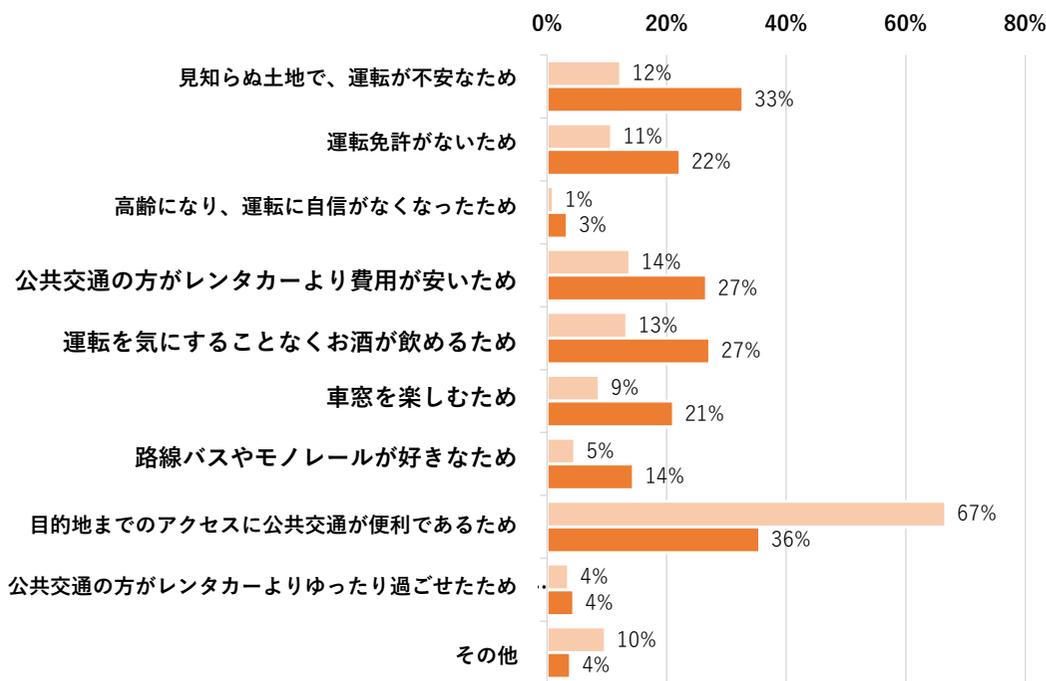
▼交通手段：事前・事後比較（海外）



④公共交通を利用した理由

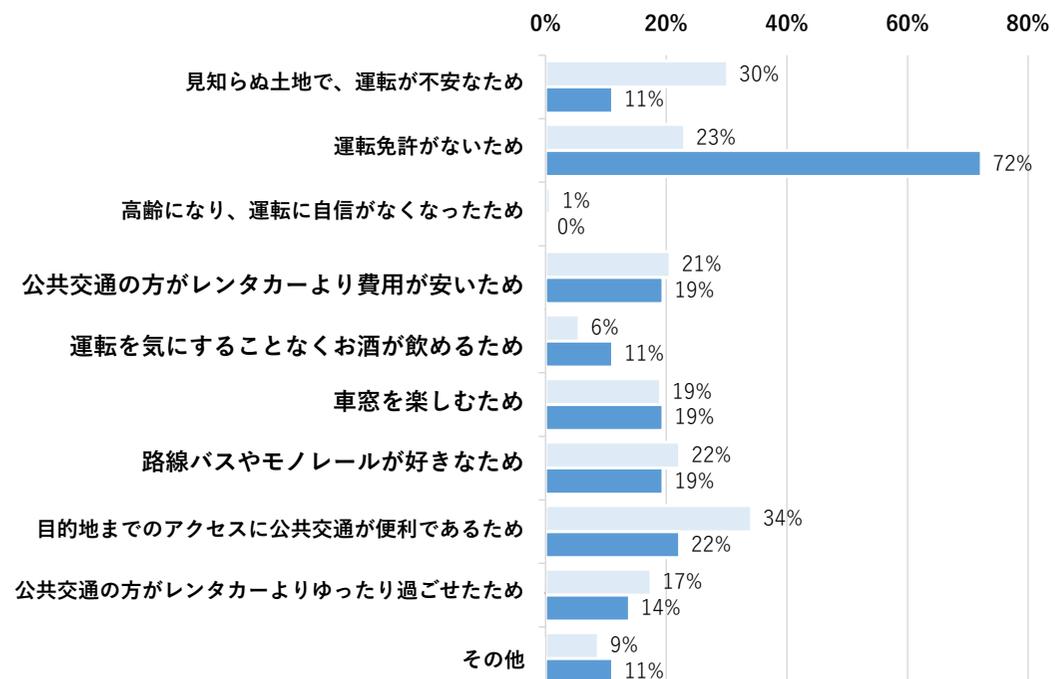
- ◆県外の事前は、「目的地までのアクセスに公共交通が便利であるため」の約7割が最も高いが事後は約4割に減少。事後は「見知らぬ土地で、運転が不安」を理由とする回答が増加し12%から33%。
- ◆海外の事前は「見知らぬ土地での運転が不安」、「便利であるため」の割合が最も高くそれぞれ約3割。事後は「運転免許がないため」が最も多く約7割。

▼公共交通を利用した理由
：事前・事後比較（県外）



■ 事前調査結果 令和元年7月 (N=195)
■ 事後調査結果 令和2年11-12月 (N=180)

▼公共交通を利用した理由
：事前・事後比較（海外）



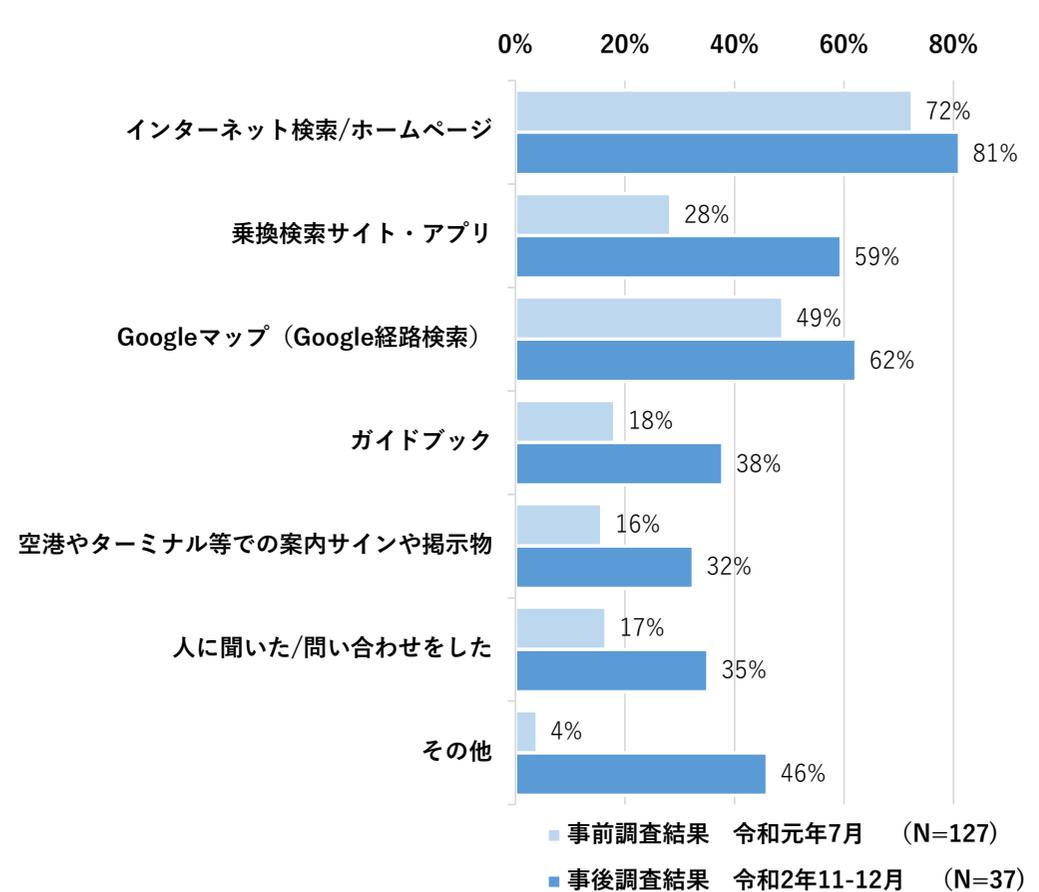
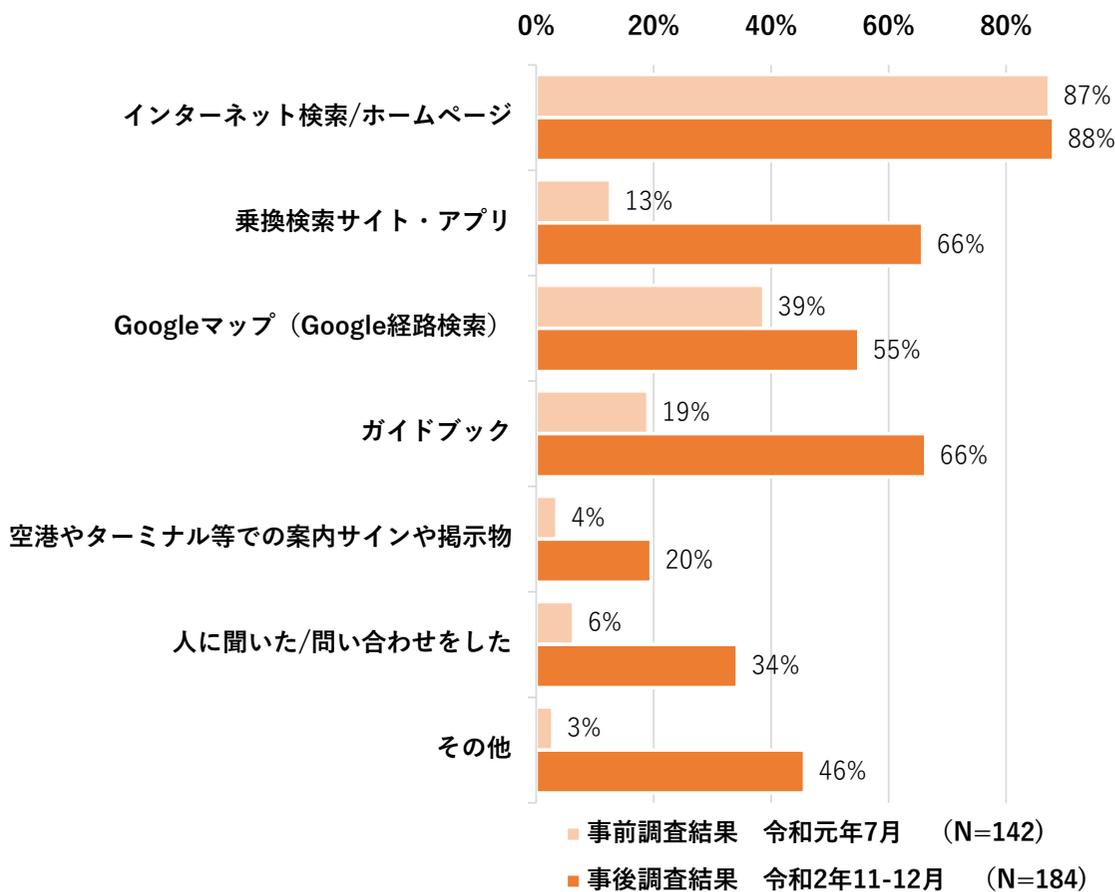
■ 事前調査結果 令和元年7月 (N=126)
■ 事後調査結果 令和2年11-12月 (N=36)

⑤公共交通情報の収集・検索方法（旅マエに収集・検索）

- ◆旅マエのうち、県外は事前・事後ともに「インターネット・ホームページ」が最も多く約9割。事後は各項目の割合が高くなっているが特に「乗換検索サイト・アプリ」、「ガイドブック」、「人に聞いた」「その他」の割合が増加している。
- ◆海外も事後は、事前に比べ「乗換検索サイト・アプリ」をはじめとして各項目の割合が特に増加している。

▼公共交通情報の収集・検索方法（旅マエに検索）
：事前・事後比較（県外）

▼公共交通情報の収集・検索方法（旅マエに検索）
：事前・事後比較（海外）

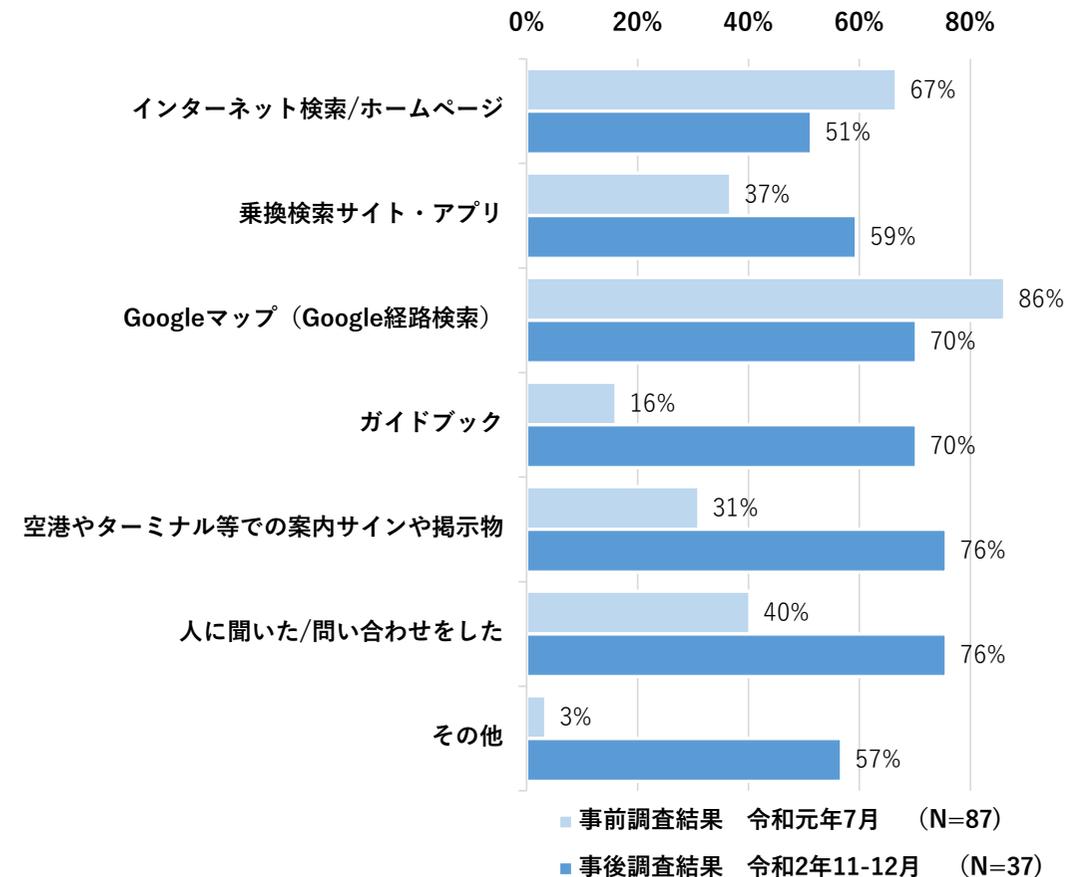
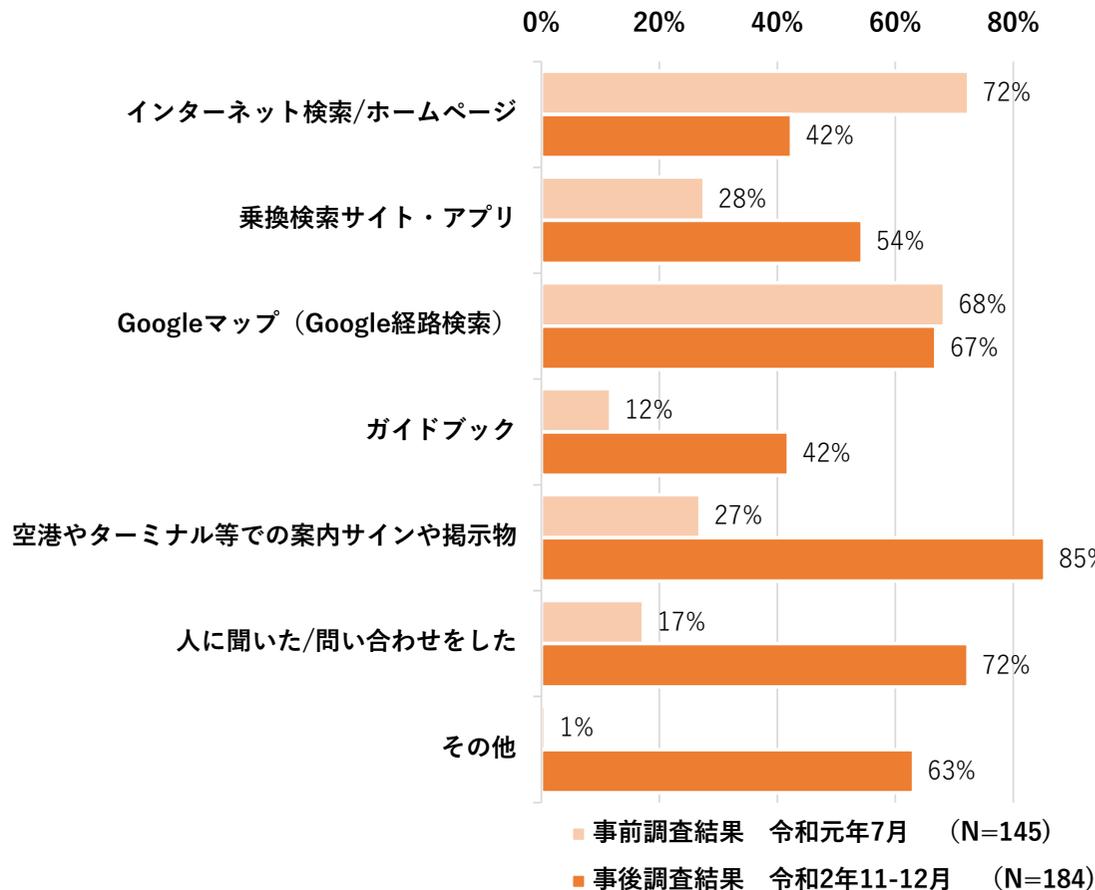


⑥公共交通情報の収集・検索方法（旅ナカに収集・検索）

- ◆旅ナカのうち、県外については「空港やターミナル等での案内サインや掲示物」、「人に聞いた/問い合わせた」、「その他」が大幅に増加。
- ◆海外は「ガイドブック」、「空港やターミナル等での案内や掲示物」、「人に聞いた/問い合わせた」が増加。

▼公共交通情報の収集・検索方法（旅ナカに検索）
：事前・事後比較（県外）

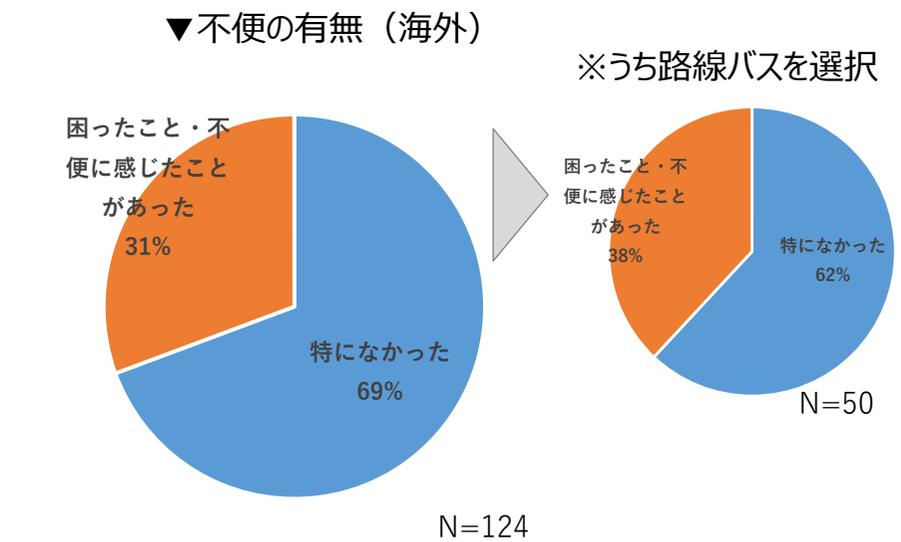
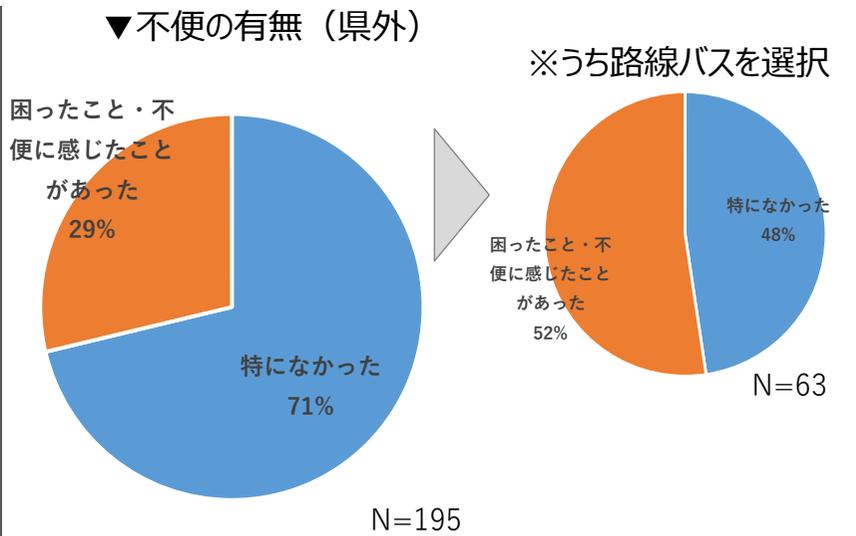
▼公共交通情報の収集・検索方法（旅ナカに検索）
：事前・事後比較（海外）



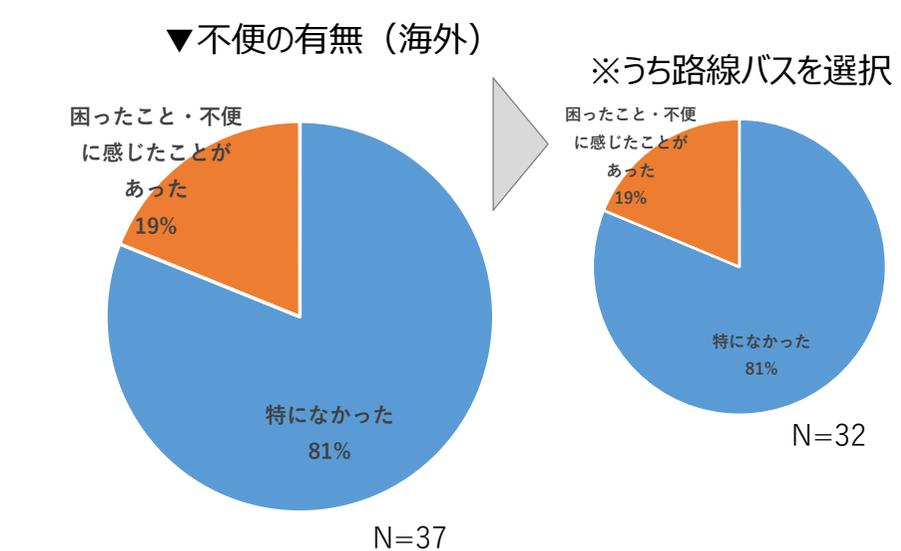
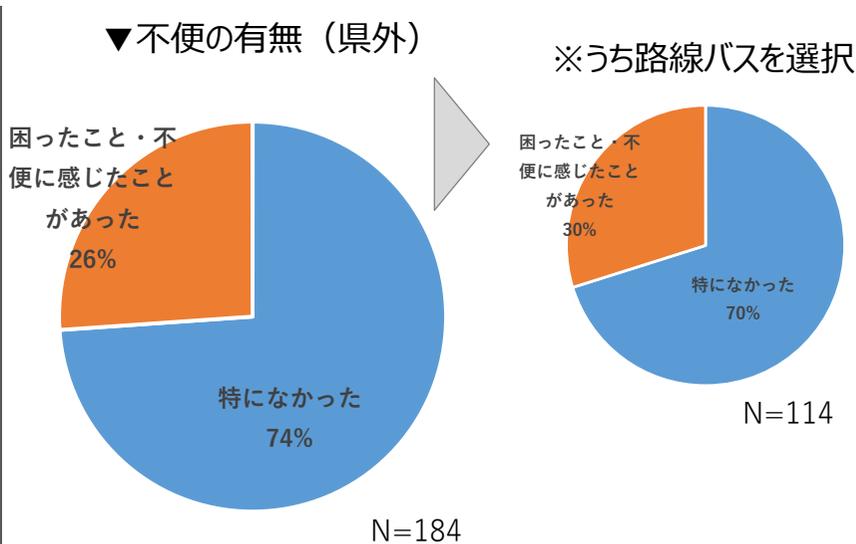
⑦検索する上で困ったことや不便に感じたことの有無

◆県外は「特になかった」が昨年度より3ポイント増加。路線バスを選択した方に絞ると18ポイント増加。海外も「特になかった」の割合が増加。
⇒Googleマップ等への情報提供による効果と考えられる。

事前調査結果
令和元年
7月



事後調査結果
令和2年
11月-12月

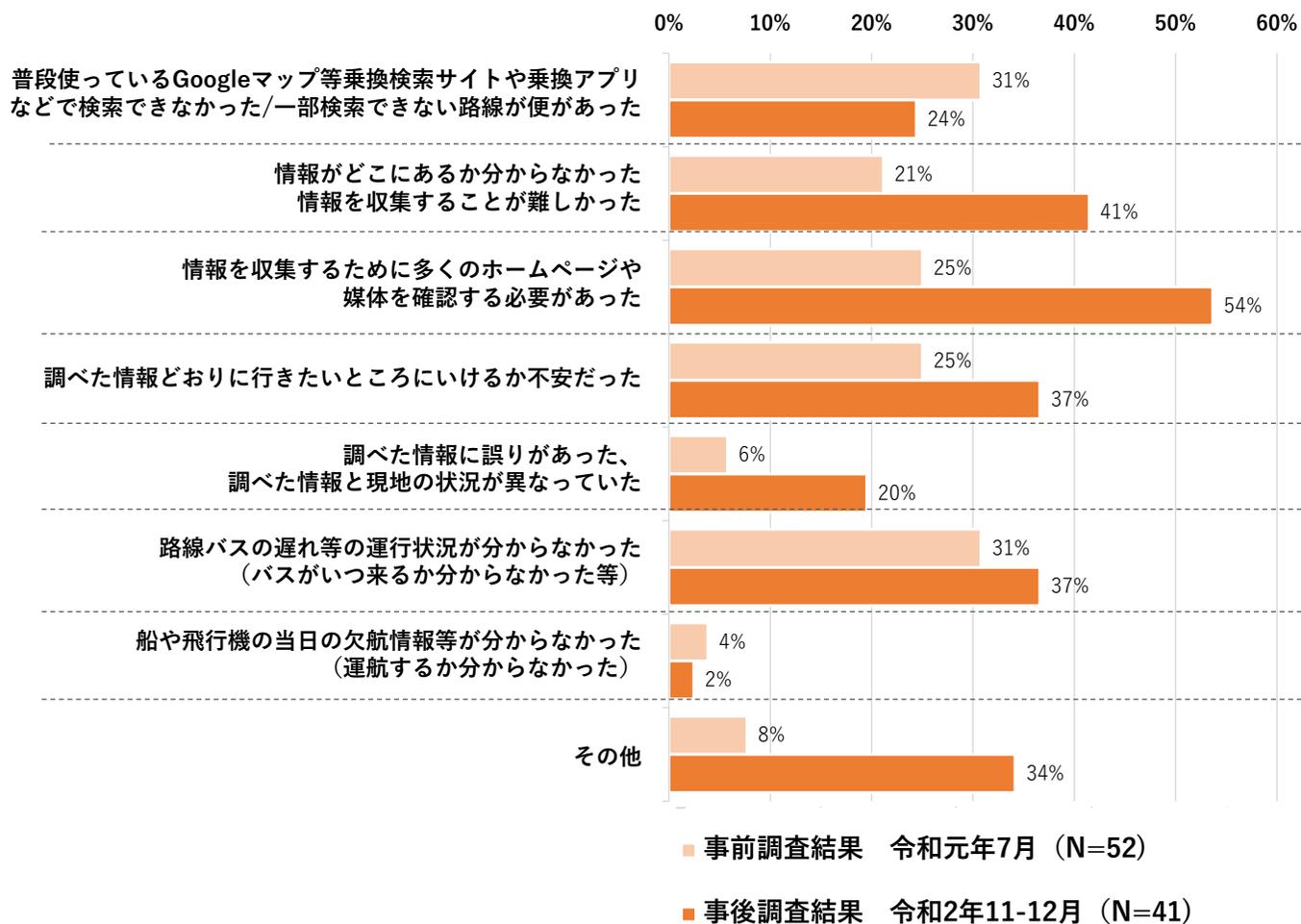


⑧検索する上で困ったことや不便に感じたことの理由

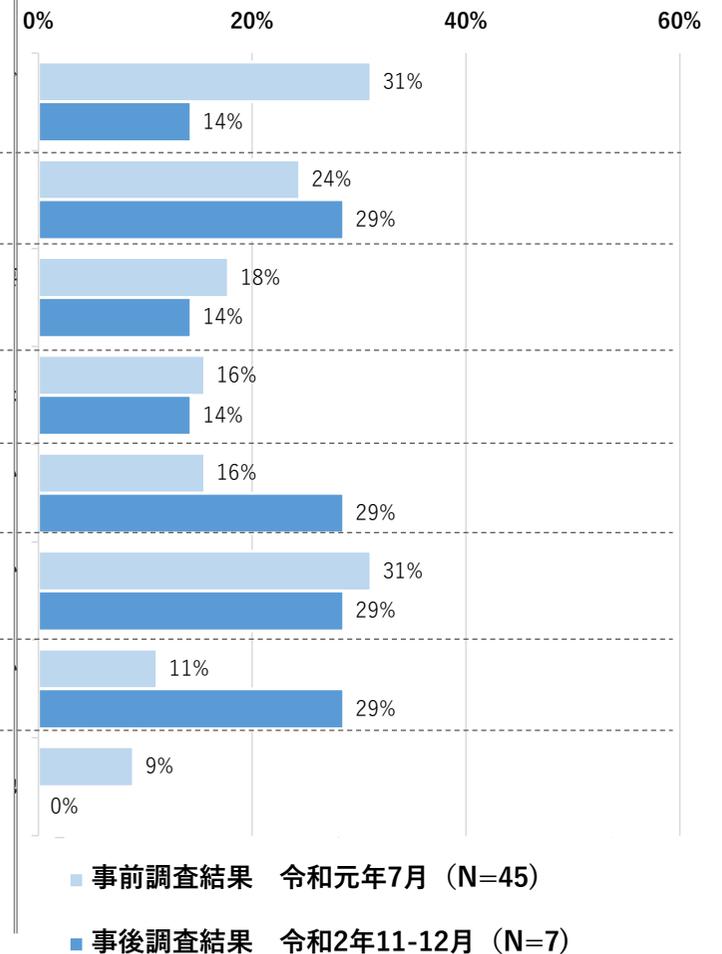
◆困ったことについては、県外の事後は事前に比べ「乗換検索サイト・Googleマップ」の割合が減少。その他の項目は増加。

◆海外の事後も「乗換検索サイト・Googleマップ」の割合は事前に比べて減少。

▼検索する上で困ったことや不便に感じたことの理由
：事前・事後比較（県外）



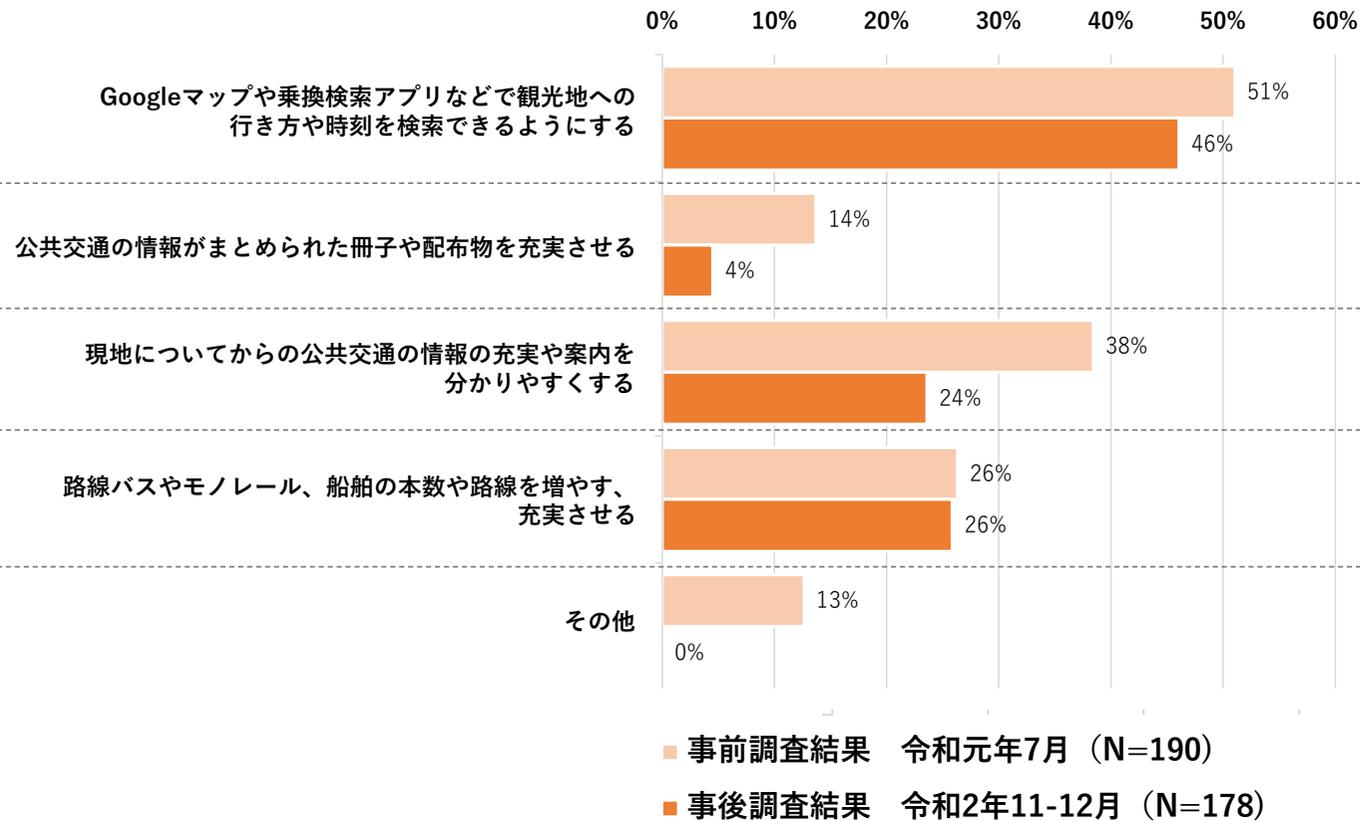
▼検索する上で困ったことや不便に感じたことの理由
：事前・事後比較（海外）



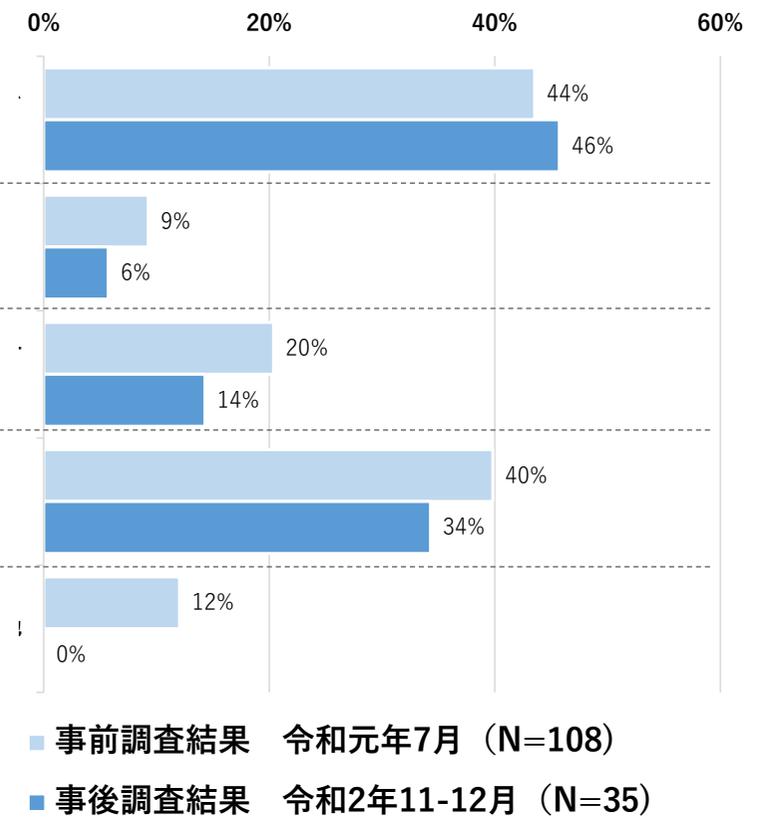
⑨観光における公共交通の利用促進のために大切なもの

◆県外・海外ともに事前・事後ともにGoogleマップや乗換検索アプリの検索が最も多い。
⇒継続的な取り組みが重要

▼公共交通の利用促進のために大切なもの
：事前・事後比較（県外）



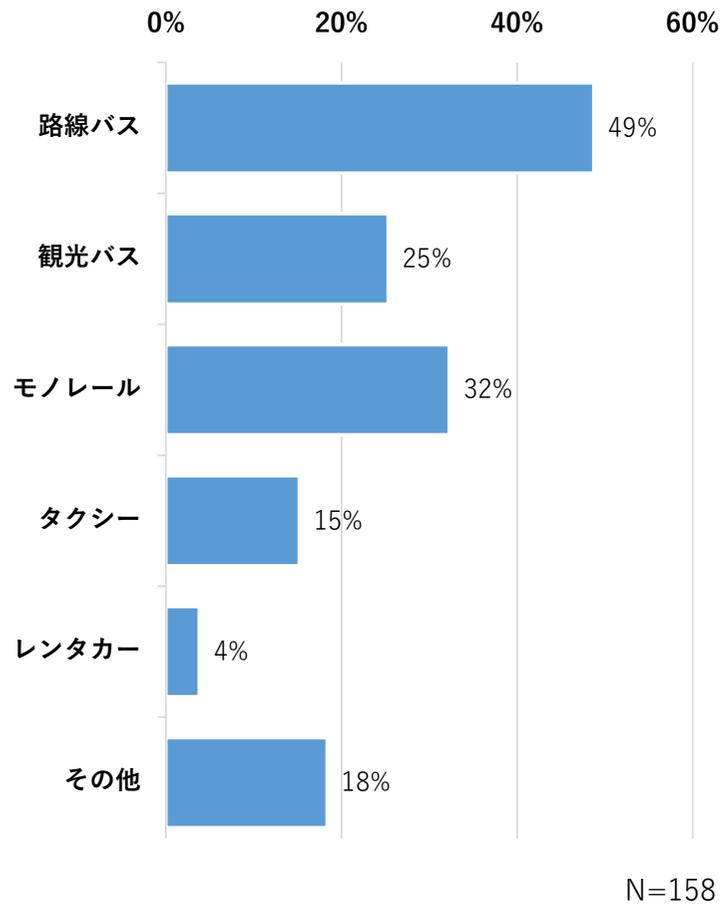
▼公共交通の利用促進のために大切なもの
：事前・事後比較（海外）



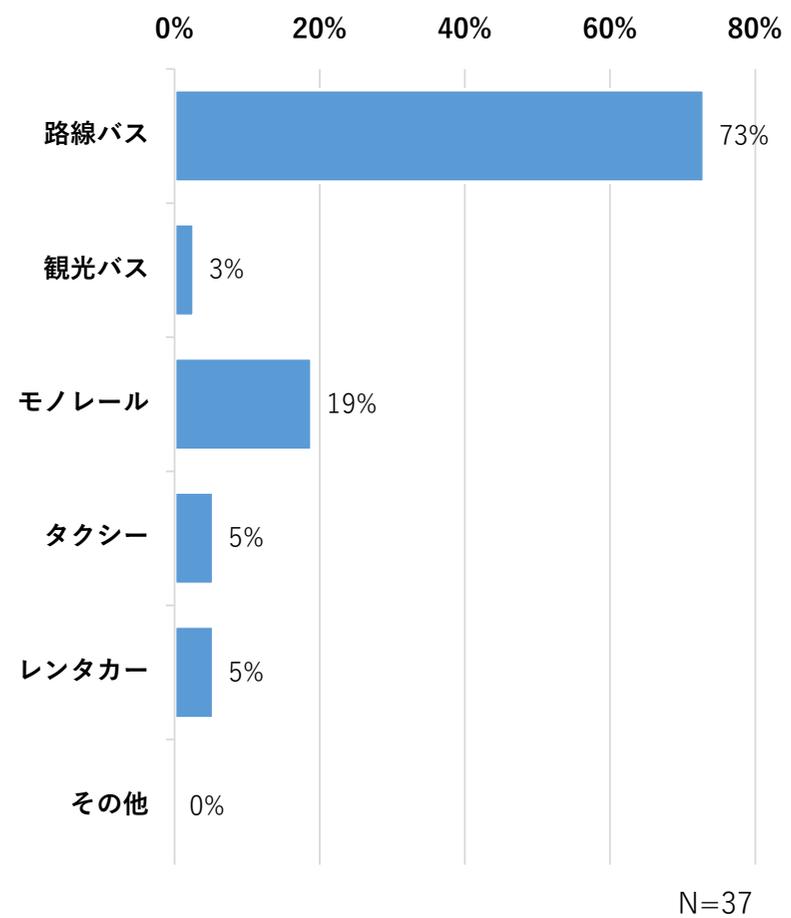
⑩那覇空港からの交通手段（今年度より実施）※デジタルサイネージについて

◆県外は約5割が路線バスを空港より利用しており、モノレールは約3割の利用。
 ◆海外は約7割が路線バスを空港より利用しており、モノレールは約2割の利用。

▼那覇空港からの交通手段（県外）



▼那覇空港からの交通手段（海外）

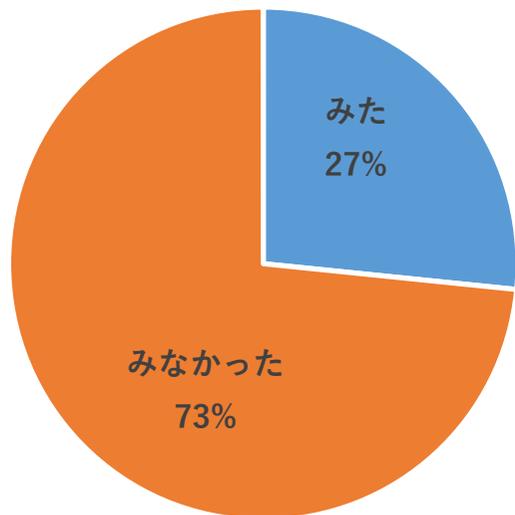


⑪那覇空港設置のデジタルサイネージの確認の有無（今年度より実施）

- ◆空港より路線バスもしくはモノレールを利用した方に対してデジタルサイネージの見たかどうか（確認の有無）を確認した。
- ◆「みた」と回答した方は県外は約3割、海外は約5割であった。

▼デジタルサイネージ確認の有無（県外）

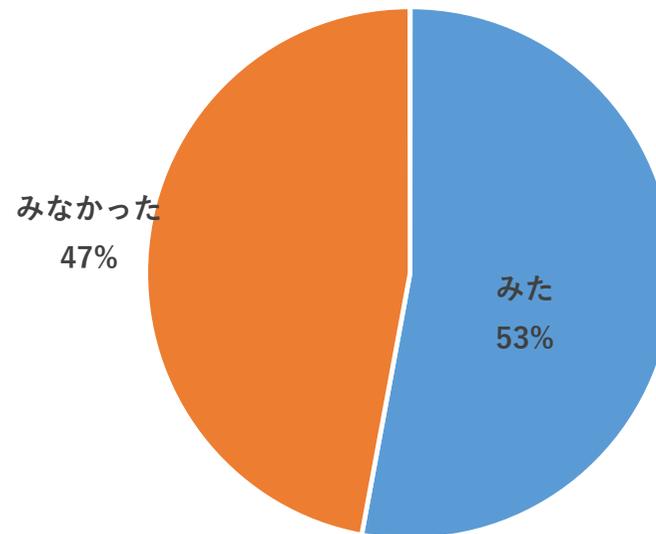
※那覇空港から路線バスもしくはモノレール利用者のみ



N=109

▼デジタルサイネージ確認の有無（海外）

※那覇空港から路線バスもしくはモノレール利用者のみ

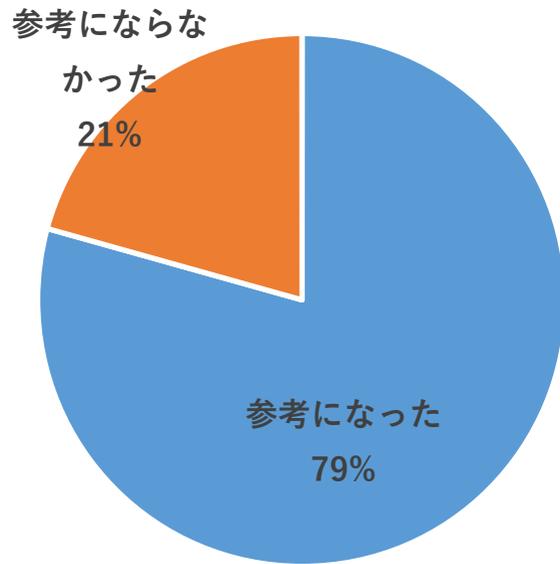


N=34

⑫ デジタルサイネージは参考になったかどうか（今年度より実施）

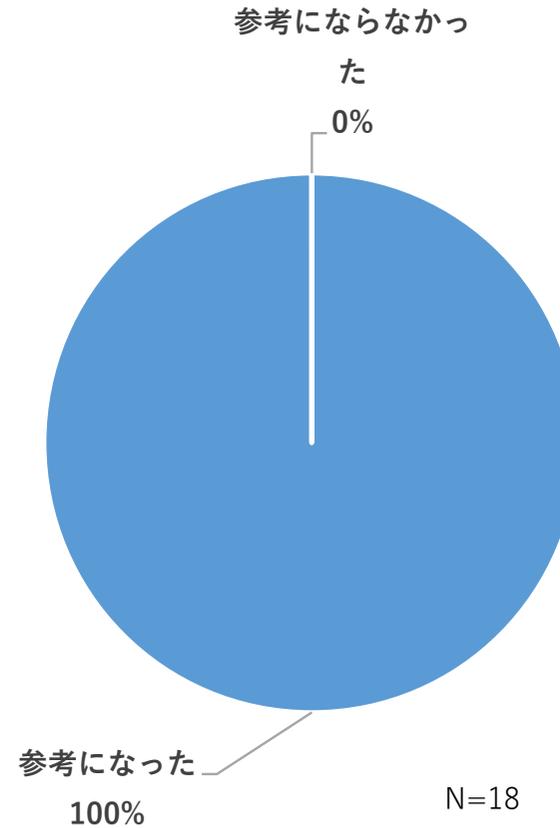
- ◆ デジタルサイネージを確認した方のうち県外は約8割が参考になったと回答。
- ◆ 海外については100%が参考になったと回答。

▼ デジタルサイネージは参考の有無（県外）



N=29

▼ デジタルサイネージは参考の有無（海外）

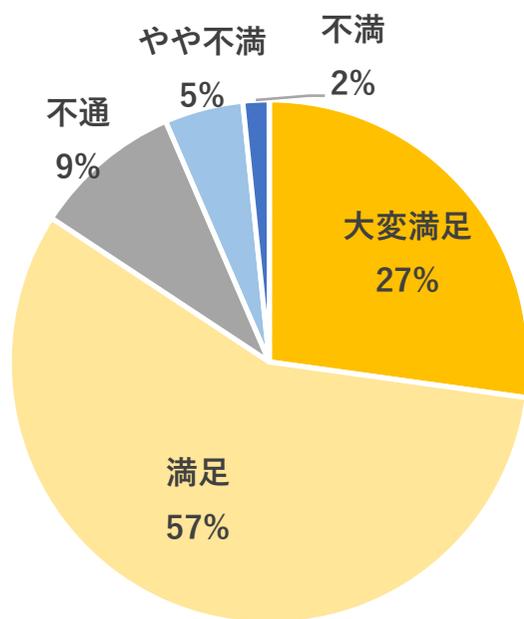


N=18

⑬公共交通を利用した観光の満足度（今年度より実施）

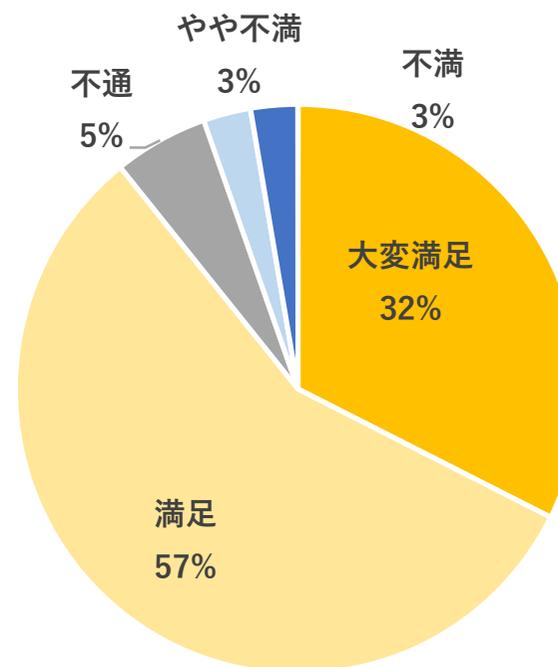
- ◆県外は大変満足が27%、満足が57%と約8割の方が大変満足もしくは満足を選択。
- ◆海外は大変満足が32%、満足が57%と約9割の方が大変満足もしくは満足を選択。

▼公共交通を利用した観光の満足度（県外）



N=184

▼公共交通を利用した観光の満足度（海外）



N=37